



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月12日

上場取引所 東

上場会社名 加賀電子株式会社

コード番号 8154 URL <https://www.taxan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 門 良一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 上席執行役員 管理本部長 (氏名) 石原 康広 TEL 03-5657-0111

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	445,475	12.4	19,449	7.7	20,766	13.0	24,308	91.2
2025年3月期第3四半期	396,243	△2.5	18,056	△11.9	18,379	△9.5	12,714	△20.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 28,977百万円 (62.9%) 2025年3月期第3四半期 17,790百万円 (△14.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	485.11	—
2025年3月期第3四半期	241.97	—

(注) 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算出しております。なお、「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については潜在株式が存在しないため「—」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	343,171	174,699	50.9
2025年3月期	305,671	166,379	54.4

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 174,703百万円 2025年3月期 166,218百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					配当性向 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	%
2025年3月期	—	110.00	—	55.00	—	33.8
2026年3月期	—	60.00	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	70.00	130.00	22.6

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有
2026年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当55円00銭 特別配当5円00銭
2026年3月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当55円00銭 特別配当15円00銭
配当予想の修正については、本日（2026年2月12日）公表しました、「2026年3月期 通期業績予想の修正（上方修正）および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。
2. 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」と記載していますが、株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の第2四半期末配当金は55円00銭となり、1株当たり年間配当金は110円00銭となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	620,000	13.2	27,000	14.4	28,000	23.9	28,500	66.8	575.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有
連結業績予想の修正については、本日（2026年2月12日）公表しました、「2026年3月期 通期業績予想の修正（上方修正）および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 7社 (社名) 協栄産業株式会社、他6社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	52,486,836株	2025年3月期	57,404,236株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	4,827,764株	2025年3月期	4,847,842株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	50,109,822株	2025年3月期3Q	52,547,921株

- (注) 1. 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、2025年3月期3Qの「期中平均株式数 (四半期累計)」を算出しております。
2. 当社は、2025年8月18日に自己株式を消却したため、「期末発行済株式数」が4,917,400株減少しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料P.5「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料(和文、英文とも)につきましては本日(2026年2月12日(木))、TDnetおよび当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績概況につきましては、以下のとおりであります。

	前第3四半期 連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年12月31日)	増減	
	百万円	百万円	百万円	
売上高	396,243	445,475	49,232	12.4%
売上総利益 (利益率)	52,190 13.2%	59,961 13.5%	7,771 0.3pt	14.9% -
販売費及び一般管理費	34,134	40,511	6,377	18.7%
営業利益 (利益率)	18,056 4.6%	19,449 4.4%	1,393 △0.2pt	7.7% -
経常利益	18,379	20,766	2,386	13.0%
税金等調整前四半期純利益	18,462	31,317	12,855	69.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	12,714	24,308	11,593	91.2%
為替レート(期中平均) USドル	152円57銭	148円74銭	△3円83銭	-

売上高

電子部品事業においては、サプライチェーンにおける在庫調整が解消しつつある中、EMS^(注)ビジネスは設備増強を実施した海外生産拠点を中心に好調に推移しました。情報機器事業では、引き続きパソコン製品および携帯端末向けセキュリティソフトの販売が好調に推移し、その他事業では国内外向けアミューズメント機器の販売が堅調に推移しました。

また、第2四半期より協栄産業株式会社が連結子会社に加わりました。

これらの結果、前年同四半期比492億32百万円増収の4,454億75百万円となりました。

(注)【Electronics Manufacturing Service】電子機器の受託生産を行うサービス

売上総利益

売上増に加えて、比較的採算性の高い製品・ビジネスが好調に推移した結果、売上総利益率が前年同四半期から0.3pt良化したことにより、前年同四半期比77億71百万円増益の599億61百万円となりました。

営業利益

売上増にともなう販売経費増および企業買収による固定費増などにより販売費及び一般管理費は増加しましたが、売上総利益の増加がこれを上回り、前年同四半期比13億93百万円増益の194億49百万円となりました。

経常利益

為替差損の減少などにより営業外損益が改善し、前年同四半期比23億86百万円増益の207億66百万円となりました。

税金等調整前
四半期純利益

企業買収にともなう負ののれん発生益(75億94百万円)および投資有価証券売却益(16億36百万円)など特別利益の計上により、前年同四半期比128億55百万円増益の313億17百万円となりました。

親会社株主に帰属する
四半期純利益

法人税、住民税及び事業税の計上などにより、前年同四半期比115億93百万円増益の243億8百万円となりました。

このように、売上高から親会社株主に帰属する四半期純利益までの全ての段階利益において、前年同四半期比で増収増益となり、中間連結会計期間に引き続き好調に推移しました。

セグメント別の状況

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの業績概況につきましては、以下のとおりであります。

		前第3四半期 連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年12月31日)	増減	
		百万円	百万円	百万円	
電子部品事業	売上高	346,212	383,892	37,679	10.9%
	セグメント利益	13,568	13,768	199	1.5%
情報機器事業	売上高	26,953	33,652	6,698	24.9%
	セグメント利益	1,953	2,499	546	28.0%
ソフトウェア事業	売上高	2,070	2,525	455	22.0%
	セグメント利益	308	233	△74	△24.2%
その他事業	売上高	21,006	25,404	4,398	20.9%
	セグメント利益	2,097	2,747	650	31.0%
合計	売上高	396,243	445,475	49,232	12.4%
	セグメント利益	18,056	19,449	1,393	7.7%

(注) 「セグメント利益」については、各セグメントでは調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値で記載しております。

- ①電子部品事業 (半導体、一般電子部品、EMSなどの開発・製造・販売など)
部品販売ビジネスは、サプライチェーンにおける在庫調整は解消傾向にある中、昨年後半から車載向け半導体や汎用メモリなど一部製品において需給が逼迫するなど一進一退の状況が続きました。協栄産業株式会社の連結化もあり、ビジネス全体としての成長は維持しました。EMSビジネスは、海外拠点を中心に積極的に進めてきた設備投資が奏功し、医療機器や空調機器向け等が好調に推移しました。
これらの結果、売上高は3,838億92百万円(前年同四半期比10.9%増)、セグメント利益は137億68百万円(前年同四半期比1.5%増)となりました。
- ②情報機器事業 (パソコン、PC周辺機器、各種家電、写真・映像関連商品およびオリジナルブランド商品など完成品の販売など)
パソコン販売ビジネスは、教育機関向けはGIGAスクール第二期の更新需要などにより好調に推移しました。量販店向けは、AIパソコンなど主要PCメーカーからの新製品発売やWindows10サポート終了にともなう買い替え需要により、好調に推移しました。
また、携帯端末向けのセキュリティソフト販売は、新製品導入による単価アップが寄与し売上を押し上げました。
これらの結果、売上高は336億52百万円(前年同四半期比24.9%増)、セグメント利益は24億99百万円(前年同四半期比28.0%増)となりました。
- ③ソフトウェア事業 (CG映像制作、アミューズメント関連商品の企画・開発など)
ゲーム向けおよびアミューズメント機器向けCG映像制作において、受託拡販に取り組んだ結果、大型案件を受注するなど売上は好調に推移しました。利益面では、第2四半期以降、黒字化が定着しましたが、第1四半期での営業損失の影響が残りました。
これらの結果、売上高は25億25百万円(前年同四半期比22.0%増)、セグメント利益は2億33百万円(前年同四半期比24.2%減)となりました。
- ④その他事業 (エレクトロニクス機器の修理・サポート、アミューズメント機器の製造・販売、スポーツ用品の販売など)
PC製品およびPC周辺機器のリサイクルビジネスは引き続き好調に推移しました。一方、前連結会計年度下半期より米国市場向けに旺盛な前倒し受注が続いたアミューズメント機器ビジネスは、当下半期に入ってやや一服感がみられました。
これらの結果、売上高は254億4百万円(前年同四半期比20.9%増)、セグメント利益は27億47百万円(前年同四半期比31.0%増)となりました。

〈参考〉直近3カ月の経営成績

①当第3四半期連結会計期間の状況

	前第3四半期 連結会計期間 (自2024年10月1日 至2024年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (自2025年10月1日 至2025年12月31日)	増減	
			百万円	比率
売上高	137,178	156,516	19,337	14.1%
売上総利益 (利益率)	18,056 13.2%	20,416 13.0%	2,359 △0.2pt	13.1% -
営業利益 (利益率)	6,554 4.8%	6,400 4.1%	△154 △0.7%	△2.4% -
経常利益	7,101	7,323	221	3.1%
税金等調整前四半期純利益	7,218	11,598	4,380	60.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,773	9,275	4,502	94.3%

②セグメント別の状況

		前第3四半期 連結会計期間 (自2024年10月1日 至2024年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (自2025年10月1日 至2025年12月31日)	増減	
				百万円	比率
電子部品事業	売上高	120,345	136,103	15,757	13.1%
	セグメント利益	4,888	4,800	△88	△1.8%
情報機器事業	売上高	8,320	12,080	3,760	45.2%
	セグメント利益	561	883	321	57.3%
ソフトウェア事業	売上高	599	846	247	41.4%
	セグメント利益	52	68	16	31.8%
その他事業	売上高	7,913	7,485	△427	△5.4%
	セグメント利益	1,002	624	△378	△37.7%
合計	売上高	137,178	156,516	19,337	14.1%
	セグメント利益	6,554	6,400	△154	△2.4%

(注)「セグメント利益」については、各セグメントでは調整前の数値を記載し、合計は調整後の数値で記載しております。

(2)当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は3,431億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ374億99百万円の増加となりました。

流動資産は2,869億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ297億98百万円の増加となりました。これは主に、協栄産業株式会社の連結化も影響し商品及び製品が195億75百万円増加したことによるものであります。

固定資産は562億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ77億円の増加となりました。これは主に、協栄産業株式会社の連結化も影響し有形固定資産が26億36百万円、投資有価証券が30億6百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は1,684億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ291億79百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が109億73百万円、短期借入金が146億92百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は1,746億99百万円となり、前連結会計年度末に比べ83億20百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日付「2026年3月期 通期業績予想の修正（上方修正）および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、2026年3月期連結業績予想および配当予想につきまして、以下のとおり修正いたします。詳細につきましては、同資料をご参照ください。

① 業績予想の修正について

2026年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A) (2025年11月6日公表)	595,000	25,500	25,500	26,000	524.78
今回修正予想 (B)	620,000	27,000	28,000	28,500	575.24
増減額 (B-A)	25,000	1,500	2,500	2,500	50.46
増減率	4.2%	5.9%	9.8%	9.6%	9.6%
(ご参考) 前期実績 ^(注) (2025年3月期)	547,779	23,601	22,593	17,083	325.08

(注) 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

前期実績の1株当たり当期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

② 配当予想の修正について

2026年3月期 配当予想数値の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2025年8月7日公表)		60.00 (普通配当 55.00) (特別配当 5.00)	120.00 (普通配当 110.00) (特別配当 10.00)
今回修正予想		70.00 (普通配当 55.00) (特別配当 15.00)	130.00 (普通配当 110.00) (特別配当 20.00)
当期実績	60.00 (普通配当 55.00) (特別配当 5.00)		
(ご参考) 前期実績 ^(注) (2025年3月期)	55.00	55.00	110.00

(注) 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。

前期実績の1株当たり中間配当金は110円ですが、上表においては前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

【参考：その他の関連指標の修正】

	資本効率性	株主還元		
	ROE	連結配当性向	DOE	総還元性向
前回予想 (負ののれん発生益調整後)	15.0%	22.9% (31.6%)	3.9% (4.0%)	77.6%
今回修正予想 (負ののれん発生益調整後)	16.5%	22.6% (30.8%)	4.2% (4.3%)	72.4%
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	10.8%	33.8%	4.2%	33.8%
「中期経営計画 2027」目標 (2024年11月6日公表)	12.0%以上	30%~40%	4.0%	—

昨年7月に実施しました協栄産業株式会社普通株式に対する公開買付けによる同社の連結子会社化にともない、今回の連結業績予想には、負ののれん発生益約76億円が計上されています。上表には株主還元の諸指標を参考として記載しておりますが、キャッシュインをともなわない負ののれん発生益を除外した実質ベースでの利益修正を増配修正後の配当予想に反映させた再計算では、連結配当性向は30.8%、DOEは4.3%となります。また、昨年8月に実施しました自己株式の取得および消却（取得価額144億円、取得株式総数492万株）を勘案した総還元性向は72.4%となります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,188	82,068
受取手形	892	536
電子記録債権	7,155	10,914
売掛金	106,091	106,966
有価証券	150	144
商品及び製品	35,906	55,482
仕掛品	1,973	3,486
原材料及び貯蔵品	13,893	15,883
その他	11,148	11,682
貸倒引当金	△236	△202
流動資産合計	257,164	286,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,839	11,843
機械装置及び運搬具（純額）	11,034	11,439
工具、器具及び備品（純額）	1,217	1,273
土地	5,940	6,167
建設仮勘定	413	359
有形固定資産合計	28,445	31,082
無形固定資産		
ソフトウェア	1,694	1,915
その他	44	40
無形固定資産合計	1,738	1,956
投資その他の資産		
投資有価証券	12,556	15,562
繰延税金資産	1,344	1,235
破産更生債権等	4,815	4,846
その他	4,481	6,494
貸倒引当金	△4,873	△4,969
投資その他の資産合計	18,323	23,169
固定資産合計	48,507	56,208
資産合計	305,671	343,171

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	73,340	84,313
短期借入金	14,890	29,583
1年内償還予定の社債	5,000	200
未払費用	8,145	7,215
未払法人税等	4,018	3,081
役員賞与引当金	428	75
その他	11,881	17,957
流動負債合計	117,704	142,428
固定負債		
社債	5,000	5,300
長期借入金	5,500	6,887
繰延税金負債	4,115	5,892
役員退職慰労引当金	99	99
退職給付に係る負債	2,572	2,709
資産除去債務	698	954
その他	3,601	4,199
固定負債合計	21,587	26,043
負債合計	139,292	168,472
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	14,885	14,767
利益剰余金	121,553	130,165
自己株式	△5,579	△9,908
株主資本合計	142,993	147,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,263	4,620
繰延ヘッジ損益	△28	△33
為替換算調整勘定	18,959	22,012
退職給付に係る調整累計額	1,031	945
その他の包括利益累計額合計	23,225	27,545
非支配株主持分	160	△3
純資産合計	166,379	174,699
負債純資産合計	305,671	343,171

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	396,243	445,475
売上原価	344,053	385,513
売上総利益	52,190	59,961
販売費及び一般管理費	34,134	40,511
営業利益	18,056	19,449
営業外収益		
受取利息	999	822
受取配当金	219	385
受取手数料	92	93
為替差益	—	307
持分法による投資利益	—	54
その他	782	622
営業外収益合計	2,093	2,284
営業外費用		
支払利息	602	587
持分法による投資損失	34	—
為替差損	882	—
正味貨幣持高に関する損失	139	176
その他	111	204
営業外費用合計	1,770	968
経常利益	18,379	20,766
特別利益		
固定資産売却益	37	22
投資有価証券売却益	276	1,636
段階取得に係る差益	—	466
負ののれん発生益	—	7,594
その他	3	962
特別利益合計	317	10,683
特別損失		
固定資産除却損	7	4
投資有価証券評価損	219	105
その他	8	20
特別損失合計	235	131
税金等調整前四半期純利益	18,462	31,317
法人税、住民税及び事業税	4,223	6,397
法人税等調整額	1,814	478
法人税等合計	6,037	6,875
四半期純利益	12,424	24,442
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,714	24,308
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△290	133

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,003	1,567
繰延ヘッジ損益	△16	△4
為替換算調整勘定	3,752	3,162
退職給付に係る調整額	603	△86
持分法適用会社に対する持分相当額	23	△104
その他の包括利益合計	5,366	4,535
四半期包括利益	17,790	28,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	18,077	28,628
非支配株主に係る四半期包括利益	△286	349

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2025年8月7日開催の取締役会決議に基づき、自己株式4,917,400株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が14,447百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2025年8月7日開催の取締役会決議に基づき、2025年8月18日付で自己株式4,917,400株の消却を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が149百万円、利益剰余金が9,947百万円、自己株式が10,096百万円それぞれ減少しております。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が14,767百万円、利益剰余金が130,165百万円、自己株式が9,908百万円となっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	3,239百万円	3,870百万円
のれんの償却額	16	—

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	346,212	26,953	2,070	21,006	396,243	—	396,243
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,691	7,505	911	4,263	15,373	△15,373	—
計	348,904	34,458	2,982	25,270	411,616	△15,373	396,243
セグメント利益	13,568	1,953	308	2,097	17,927	128	18,056

(注) 1. セグメント利益の調整額128百万円には、セグメント間取引消去128百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2025年4月1日至2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注)2
	電子部品 事業	情報機器 事業	ソフトウェア 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	383,892	33,652	2,525	25,404	445,475	—	445,475
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,135	11,321	747	3,824	19,029	△19,029	—
計	387,027	44,974	3,273	29,229	464,504	△19,029	445,475
セグメント利益	13,768	2,499	233	2,747	19,249	200	19,449

(注) 1. セグメント利益の調整額200百万円には、セグメント間取引消去200百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

電子部品事業において、7,594百万円の負ののれん発生益を計上しております。これは当社が2025年7月18日付で協栄産業株式会社の株式取得にともない発生したものであります。